



社労士のつづやき(77)改めてマイナンバー考

マイナンバーカードを作れば5千円分のポイント還元。この期限が21年9月末から12月末まで延びました。なかなかカードの普及は進まないようです。この8月から9月だけでも、新聞では「企業の健康情報をマイナンバーで共有する」「認知症患者の病歴を救急隊員がマイナンバーですぐ把握する」「健康保険カード代わりに」等々の記事が出ていましたが、いずれも「さて、いつになることやら」といった内容です。そう言えば昨年、コロナの給付金をマイナンバーで受け付けて窓口が大混乱した、というのも記憶に新しい出来事です。では、なぜカードが普及せず、システムの整備が遅々として進まないのでしょうか？

一例ですが、年金受給有資格者が一定の年齢になると、誕生日の数か月前に日本年金機構から「年金請求書」が届きます。そこには、記入欄に住所や氏名、生年月日、基礎年金番号が入力されています。自分で記入する必要はありません。他の申請用紙も同じで、氏名等は印字されていますが、マイナンバーは必ず記入しなければならない仕組みになっています。そして役所には特定郵便で送ることが求められます。簡単に言えば、それだけマイナンバーは秘密扱いにされているのです。

そもそもマイナンバーは、税金と社会保険料の徴収を役所が効率良く行うことを目的に導入されました。導入以前は、所得税は税務署、住民税や国保料は市区町村役場、社会保険料は年金事務所とバラバラで、担当者が把握するためには、大げさでなく省庁の壁を越えて互いが資料を取り寄せなければなりません。それが今は役所の端末で調べることができるのです。役所の人間が楽をすることを目的としてマイナンバーですから、国民の健康を守るためとか、給付金を支給するためとか、治療代(7割が保険から支給される)を支払うためとか、おおよそ「国民のために使う」ように設定されていないのです。システムができるはずがありません。

先程上げた認知症の対応例では、記事によると「本人が携帯しているマイナンバーカードで確認する」となっています。認知症患者がカードを携帯？治療歴やおくすり手帳の替わり？まだ病院や薬局での普及率は1.5%なのに？そもそもカードにはパスワードがあるのに、救急隊員がどうやって？あるいは簡単に見られるようにするのか？では何のためのパスワード？

いくつもの壁を乗り越え、マイナンバーカードを使って端末ですぐに閲覧できるようになるまでには、まだまだ時間がかかるようですね

社労士事務所アジュール 高龍弘

燃料カードの価格表【2021年10月分】

AMSカード ※共通利用可能		ENEOSビジネスカード		全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行			
油種	ENEOS・Shell・COSMO	油種	ENEOS	油種	COSMO	ENEOS	宇佐美
レギュラー	143.0円	レギュラー	145.0円	レギュラー	137.7~139.7円	137.8~139.8円	138.3~140.3円
ハイオク	153.0円	ハイオク	155.0円	ハイオク	147.7~149.7円	147.8~149.8円	148.3~150.3円
軽油	125.0円	軽油	121.0円	軽油	114.2~116.2円	118.3~120.3円	116.3~118.3円
【価格は税抜】		【価格は税抜】		【価格は税抜】			
全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行							
油種	ENEOSウイング	FLEX&TRUST カード(Shell)	TRUST&FLEX カード(出光)	エネクスフリート			
レギュラー	137.3~139.3円	137.9~139.9円	138.4~140.4円	135.8~137.8円			
ハイオク	147.3~149.3円	147.9~149.9円	148.4~150.4円	145.8~147.8円			
軽油	112.2~114.2円	118.4~120.4円	113.6~115.6円	113.8~115.8円			
【価格は税抜】							